

☆☆☆軟式野球部の全国大会出場応援レポート！☆☆☆ 人見 保隆（平成元年卒）

春季1部リーグで優勝を果たして全国大会への出場権を見事に勝ち取り、下関から1000キロ離れたここ東京へやってきた軟式野球部の後輩たち。6月に連絡を受けていた私は、この大会の観戦・応援することをワクワクして待ち焦がれていました。連盟OB理事として来京されていた川西さん（昭和53年卒）と待ち合わせて宿舎を訪問し、大野主将他2名の部員と対談、激励をしました。部の実状・選手気質などについて話し合うと、昔と現在のあまりの違いにお互い非常に驚きです。

翌日の八王子市スリーボンズベースボールパーク。50期以上にも亘る代となるのに、何故かOB・OG応援者は昭和60年卒～平成10年卒の十数期内に集中しました。なので、どこかしらで繋がりがあったためか二人、三人と集まる度に顔見合わせて「おおっ!!」と驚喜！

いざ試合、1回戦を勝ち上がってきた広島修道大学との中国地方対決となりました。

東京馬関会のみなさんが、同窓会旗をスタンド前のネットに掲げていただき（ありがとうございました！）、そうするとベンチ前の円陣で大野主将は「苦しい時にはこの旗を見て気持ちを奮い立たすんだゾ！」と、ナインを鼓舞されたので、感激もひとしおでありました。

3回、その大野主将のタイムリーで幸先良く先制するも継投の際をつかれ（全国大会だから9回制。なので継投策は定石だったのか？）、エラーや不運な打球も絡んで6失点となった“魔の4回”…。

1点、2点と返してギリギリと詰め寄り、再三のピンチも堅く守って切り抜け、そして最終回は同点のランナーを出して粘りましたがあと一歩及ばず4-6の惜敗…(´;ω;`)

しかし全員、スタンドに向かって爽やかに整列・礼をしてくださいました。

エラーや三振しても下を向かず明るく励まし合っている…これは私の現役時代では考えられなかったこと。

年齢を重ねるにつれて無くしかかっていた、真の「若い力」をもらえました。

最後、球場横に集まって同窓会旗を囲み、選手・OB・東京馬関会の方全員での記念撮影。

三十数年前に軟式野球部活動に励んでいる自分へとタイムスリップしたような気がしました。

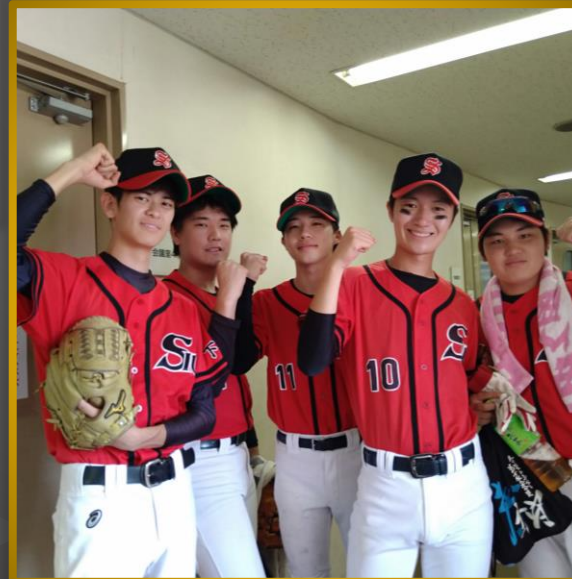
東京馬関会のみなさん、各地から駆けつけた先輩後輩OB・OGのみなさん、ありがとうございました。

そして力いっぱい戦った選手のみなさん、秋季リーグも勝ち抜いてぜひ西日本大会2連覇を！

部活動（勉学も）を通して充実した大学生活を送ってください。これからも期待しています。



下関市立大学 軟式野球部 全国大会！！



応援ギャラリー

宿舍を訪問し激励



後半に向けて円陣



1点先取、締めていくゾ!



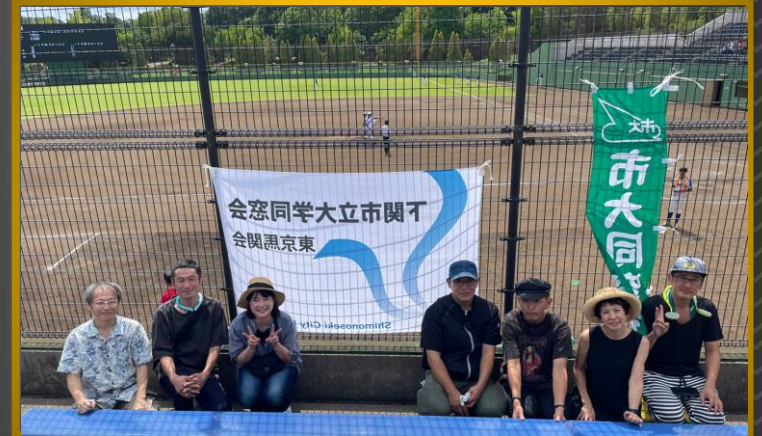
ナイスゲームでした!



OBと東京馬関会メンバー



試合前に女子マネージャーと



ご父兄と東京馬関会メンバー